

公共施設 「学校再編の取組」が6割を超え、「片浜小学校の利活用」が約5割を超える

公共施設の最適化に向けた市の取組で知っている項目については、「学校再編の取組」が6割以上で、最も高くなっています。「片浜小学校の利活用」や昨年度に開駅した「道の駅『そらっと牧之原』」に関する設問については、例年同様に高い認知度となっています。

また、昨年度と比較すると、「消防団詰所の統廃合」が7.1%増加し、最も上昇率が高くなっています。

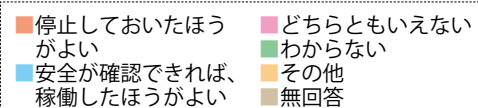
【公共施設の最適化とは】

日本では、昭和40～50年代における高度経済成長や都市化の進展に伴い、道路や橋を含めた公共施設を一齐に整備しました。これらの公共施設は、老朽化により、近い将来一齐に作り直さなければいけない時期を迎えます。しかし、人口や経済構造が変化の中で、全ての公共施設を維持・更新していくことは財政的に難しくなるため、市では公共施設の最適化に向け、計画的に取り組んでいきます。

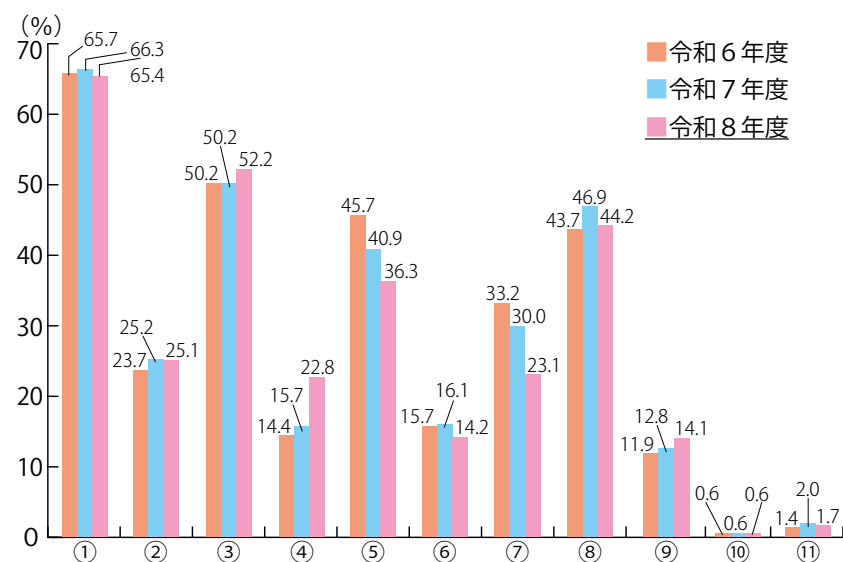
原発 「安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が約4割

浜岡原子力発電所の今後については、「安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が約4割を占める結果となりました。次いで、「停止しておいたほうがよい」が約3割、「どちらともいえない」が約2割、「わからない」が約1割となりました。

昨年度と比較すると、「停止しておいたほうがよい」が平成29年度以降減少傾向で推移していましたが、今回は1.2%増加しました。その理由としては、1月に発覚した、浜岡原子力発電所の再稼働審査における「基準地震動データの不正事案」の影響によるものと考えられます。



問 「公共施設の最適化」に対応するための取組で、知っているものは？



①学校再編の取組 ②保育施設の民営化 ③片浜小学校の利活用 ④消防団詰所の統廃合 ⑤図書館の整備 ⑥老朽化施設の取り壊し ⑦多目的体育館の整備 ⑧道の駅の整備 ⑨知らない ⑩その他 ⑪無回答

市の行政サービス 「市の取組に対する満足度・重要度について」

市の行政サービス51項目について「満足度」、「重要度」を伺いました。「満足度」を、「満足：＋2点」「やや満足：＋1点」「やや不満：－1点」「不満：－2点」で配点し、全回答における平均を算出すると、昨年度は－0.14点に対して、今年度は－0.02点になり、0.12点と大きく上昇しました。

■満足度トップ3（評価点）

- 第1位 火災・救急などの消防体制（0.57点）
- 第2位 学校や地域で子どもを守る活動（軒先運動や青色パトロールなど）（0.54点）
- 第3位 市の情報や知りたい取組などの情報発信（広報紙や市公式LINEなど）（0.53点）

■重要度トップ3

- 第1位 震災・水害・浸水対策
- 第2位 子育て支援
- 第3位 子どもを通わせたいと思える学校環境

令和8年度 市民意識調査結果

市では、市の取組に対する皆さんの満足度や重要度などを確認するため、毎年「市民意識調査」を実施しています。

今年度の調査結果について、一部抜粋して掲載します。結果は、今後市の各施策などに反映することとし、全設問の調査結果は市ホームページなどで公表しています。

問い合わせ 企画政策課 芳村 ☎③0045

市ホームページは、右の二次元コードを読み取るか検索してご覧ください。

牧之原市 市民意識調査 検索

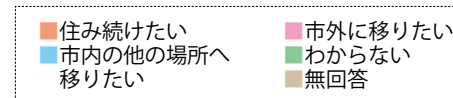


— 調査の概要 —

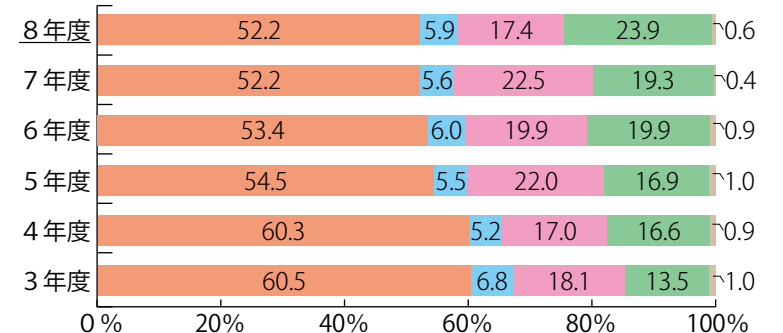
調査対象：市内在住（市内に住民票のある人）の16歳以上の市民
調査方法：無作為抽出による郵送配布・回収
調査期間：4月23日（日）～5月11日（日）
対象者数：1,398人（発送数：1,400人）
＊対象者数は、発送数から宛先不明などによる返戻2件を除いた数です。
有効回収数：661件（郵送：381人、インターネット：280人）
有効回収率：47.3%（郵送：27.3%、インターネット：20.0%）
＊端数処理の都合上、また、複数回答のため、合計が100%にならない場合があります。

居住 2人に1人以上が、今住んでいる場所に「住み続けたい」

今住んでいる場所に「住み続けたい」という回答が5割以上となり、「市外へ移りたい」と「わからない」という回答が約2割となりました。「他の場所へ移りたい」と回答した人の理由としては、「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が約5割となり、最も多い結果となっています。

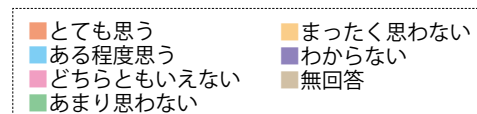


問 今住んでいる場所に今後も住み続けたいか？

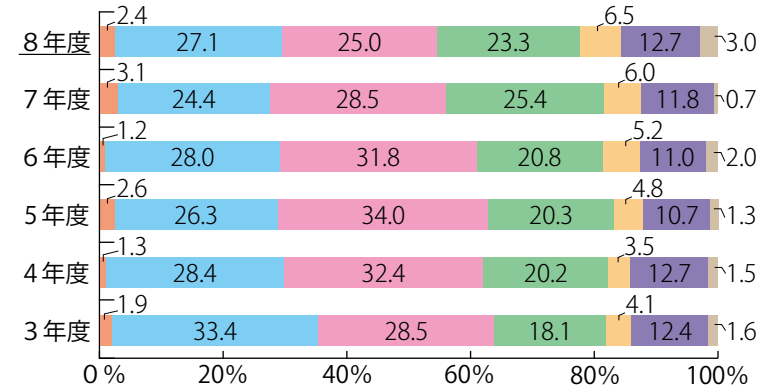


子育て 「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」に取り組むべきが約6割

「牧之原市は子どもを育てやすい環境だと思いますか？」との問いに対し、約3割の方々が「とても思う」、「ある程度思う」と回答しています。子どもを育てやすい環境にするため、市が力を入れるべき取組としては、「小児科医や産婦人科など医療機関の充実」が約6割で、最も高くなっています。



問 牧之原市は子どもを育てやすい環境だと思いますか？



問 子どもを育てやすい環境にするためには、市はどんなことに力を入れるべきだと思いますか？

①小児科や産婦人科などの医療機関の充実（58.5%） ②子育てに関する経済的支援の充実（41.5%） ③親子で遊べる施設や公園の整備（38.3%） ④子どもを預かる施設の充実（31.9%） ⑤仕事や家事などの両立の支援（27.2%） ⑥教育・文化水準の向上（16.5%） ⑦地域で子どもを育てる意識の向上（12.6%） ⑧悩み事を話せる相談窓口の充実（8.9%） ⑨男性の育児・家事参加の促進（8.0%） ⑩子育てについての積極的な情報提供（7.6%） ⑪その他（3.6%） ⑫無回答（2.3%） ＊丸数字は回答率が高い順位